

# 平成 29 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長崎県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
長崎市	長崎みなとメディカルセンタ ー	2
佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市 総合医療センター	3
佐世保市	地方独立行政法人 北松中央 病院	4
大村市	市立大村市民病院	5
平戸市	国民健康保険平戸市民病院	6
平戸市	平戸市立生月病院	7
雲仙・南島原保健組合（ 事業会計分）	公立新小浜病院	8
長崎県病院企業団	五島中央病院	9
長崎県病院企業団	富江病院	10
長崎県病院企業団	上五島病院	11
長崎県病院企業団	上対馬病院	12
長崎県病院企業団	精神医療センター	13
長崎県病院企業団	島原病院	14
長崎県病院企業団	壱岐病院	15
長崎県病院企業団	対馬病院	16

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 29 年度 )</b>		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	長崎市
		病院名	長崎みなとメディカルセンター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	429,508	
決算規模（千円）	203,704,925	
標準財政規模（千円）	100,097,096	
財政力指数	0.59	
経常収支比率（%）	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.1
	将来負担比率（%）	77.0

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	38,082			
1 経常収益	38,082			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	38,082			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	38,082			
2 経常費用	38,082			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	50.2
材料費	-	-	24.0	27.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.9
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.2	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	38,082			
(うち支払利息)	38,082	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	99.7
医業収支比率	-		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	90.3

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	佐世保市
		病院名	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	85.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	14.1
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	255,439	
決算規模(千円)	119,955,318	
標準財政規模(千円)	61,021,437	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	52,244			
1 経常収益	52,244			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	52,244			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	52,244			
2 経常費用	52,244			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	50.2
材料費	-	-	24.0	27.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.9
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.2	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	52,244			
(うち支払利息)	52,244	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	99.7
医業収支比率	-		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	90.3

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(29年度)</b>		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	佐世保市
		病院名	地方独立行政法人 北松中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	255,439	
決算規模(千円)	119,955,318	
標準財政規模(千円)	61,021,437	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,839			
1 経常収益	17,839			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	17,839			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,839			
2 経常費用	17,839			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	17,839			
(うち支払利息)	17,839	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	81.0

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	大村市
	病院名	市立大村市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,090 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感 輪
診療科数	22	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	212	93.4	67.3	65.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	2.1	-	-
計	216	91.7	66.3	64.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	13.8	13.5

設立団体の状況		
人口(人)	92,757	
決算規模(千円)	41,953,320	
標準財政規模(千円)	19,331,023	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	59.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,271,438			
1 経常収益	1,271,438			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,271,438			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	88,428			
(うち長期前受金戻入)	1,182,995			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,492,957			
2 経常費用	1,492,910			
(1) 医業費用	1,421,345			
職員給与費	1,343	-	55.9	59.2
材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	636,905	-	9.2	10.4
経費	14,375	-	23.2	27.3
(うち委託料)	10,067	-	11.2	11.8
研究研修費	-			
資産減耗費	768,722			
(2) 医業外費用	71,565			
(うち支払利息)	71,565	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	47			
損益				
経常損益	-221,472			
純損益	-221,519			
累積欠損金	1,495,461			
経常収支比率	85.2		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	79.2		85.9	83.2

備考：  
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,224,094
1 固定資産	8,811,062
(1) 有形固定資産	8,811,062
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	413,032
(1) 現金及び預金	411,770
(2) 未収金及び未収収益	1,262
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	9,848,817
1 固定負債	7,743,470
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,443,470
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	833,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	460,364
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	372,395
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,272,100
(1) 長期前受金	3,494,528
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,222,428
資本合計	-624,723
1 資本金	629,464
2 剰余金	-1,254,187
(1) 資本金剰余金	241,274
(2) 利益剰余金	-1,495,461
負債・資本合計	9,224,094
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	624,723
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	42,577	88,428
資本勘定繰入	246,800	455,402
計	289,377	543,830

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	平戸市
				病院名	国民健康保険平戸市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,703 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	58	88.4	88.5	91.5
療養	42	84.2	82.4	88.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	86.6	85.9	90.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	17.2	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	31,920	
決算規模(千円)	26,818,349	
標準財政規模(千円)	13,467,401	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,586,006			
1 経常収益	1,544,050			
(1) 医業収益	1,263,738			
入院収益	692,829			
外来収益	387,721			
診療収入計	1,080,550			
その他医業収益	183,188			
(うち他会計負担金)	56,795			
(2) 医業外収益	280,312			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	190,951			
(うち長期前受金戻入)	77,519			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,956			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,560,956			
2 経常費用	1,556,323			
(1) 医業費用	1,487,579			
職員給与費	869,691	68.8	55.9	59.8
材料費	149,416	11.8	24.0	17.7
(うち薬品費)	87,034	6.9	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,382	4.9	11.1	8.0
減価償却費	131,112	10.4	9.2	10.4
経費	332,794	26.3	23.2	31.2
(うち委託料)	174,604	13.8	11.2	12.8
研究研修費	2,257			
資産減耗費	2,309			
(2) 医業外費用	68,744			
(うち支払利息)	34,179	2.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	4,633			
損益				
経常損益	-12,273			
純損益	25,050			
累積欠損金	68,455			
経常収支比率	99.2		98.0	96.3
医業収支比率	85.0		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.0		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	19.6		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	15.6		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	83.3		85.9	81.0

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,581,833
1 固定資産	2,668,695
(1) 有形固定資産	2,665,257
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	1,533
2 流動資産	913,138
(1) 現金及び預金	530,717
(2) 未収金及び未収収益	372,981
(3) 貸倒引当金( )	10,345
(4) 貯蔵品	19,093
3 繰延資産	-
負債合計	2,550,665
1 固定負債	1,491,059
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	960,326
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	527,623
(7) リース債務	3,110
2 流動負債	330,792
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	165,329
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,205
(6) リース債務	1,555
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	72,065
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	728,814
(1) 長期前受金	1,883,692
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,154,878
資本合計	1,031,168
1 資本金	1,100,559
2 剰余金	-69,391
(1) 資本剰余金	142,728
(2) 利益剰余金	-212,119
負債・資本合計	3,581,833
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.1
修正医業収支金額(千円)	1,206,943

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	246,734	247,746
資本勘定繰入	103,870	107,650
計	350,604	355,396

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> ( 29 年度 )	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	平戸市
	病院名	平戸市立生月病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	60	77.9	79.2	70.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	77.9	79.2	70.4
平均在院日数（一般病床のみ）		28.5	27.5	29.3

設立団体の状況		
人口（人）	31,920	
決算規模（千円）	26,818,349	
標準財政規模（千円）	13,467,401	
財政力指数	0.24	
経常収支比率（％）	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（％）	-
	連結実質赤字比率（％）	-
	実質公債費比率（％）	6.3
	将来負担比率（％）	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,066 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（％）	82.1
修正医業収支金額（千円）	608,265

損益計算書（千円・％）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	775,740			
1 経常収益	774,438			
(1) 医業収益	650,554			
入院収益	390,494			
外来収益	187,510			
診療収入計	578,004			
その他医業収益	72,550			
(うち他会計負担金)	42,289			
(2) 医業外収益	123,884			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	96,208			
(うち長期前受金戻入)	23,734			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,302			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	759,954			
2 経常費用	759,542			
(1) 医業費用	740,682			
職員給与費	478,135	73.5	55.9	69.4
材料費	75,806	11.7	24.0	17.1
(うち薬品費)	42,283	6.5	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,523	5.2	11.1	5.8
減価償却費	48,340	7.4	9.2	11.6
経費	136,254	20.9	23.2	31.2
(うち委託料)	75,798	11.7	11.2	12.1
研究研修費	1,346			
資産減耗費	801			
(2) 医業外費用	18,860			
(うち支払利息)	1,278	0.2	1.7	2.1
(3) 特別損失	412			
損益				
経常損益	14,896			
純損益	15,786			
累積欠損金	143,664			
経常収支比率	102.0		98.0	98.0
医業収支比率	87.8		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	17.9		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	21.3		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	17.9		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	83.7		85.9	75.8

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・％）	
区分	決算額
資産合計	3,581,833
1 固定資産	2,668,695
(1) 有形固定資産	2,665,257
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	1,533
2 流動資産	913,138
(1) 現金及び預金	530,717
(2) 未収金及び未収収益	372,981
(3) 貸倒引当金（ ）	10,345
(4) 貯蔵品	19,093
3 繰延資産	-
負債合計	2,550,665
1 固定負債	1,491,059
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	960,326
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	527,623
(7) リース債務	3,110
2 流動負債	330,792
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	165,329
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,205
(6) リース債務	1,555
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	72,065
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	728,814
(1) 長期前受金	1,883,692
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,154,878
資本合計	1,031,168
1 資本金	1,100,559
2 剰余金	-69,391
(1) 資本金剰余金	142,728
(2) 利益剰余金	-212,119
負債・資本合計	3,581,833
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	137,105	138,497
資本勘定繰入	28,746	31,446
計	165,851	169,943

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（％）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（％）	11.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（％）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（％）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(29年度)</b>				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	雲仙・南島原保健組合(事業会計分)
				病院名	公立新小浜病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,857 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	16	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	90	90.7	90.8	95.1
療養	60	91.1	83.7	88.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	90.9	87.9	92.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	16.9	15.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.3
修正医業収支金額(千円)	5,353

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	269,937			
1 経常収益	269,937			
(1) 医業収益	5,353			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	5,353			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	264,584			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	257,796			
(うち長期前受金戻入)	2,558			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	263,378			
2 経常費用	263,378			
(1) 医業費用	233,228			
職員給与費	30,375	567.4	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	49,994	933.9	9.2	10.4
経費	144,640	2702.0	23.2	31.2
(うち委託料)	21,890	408.9	11.2	12.8
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	8,219	-	-	-
(2) 医業外費用	30,150	-	-	-
(うち支払利息)	13,525	252.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	6,559			
純損益	6,559			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		98.0	96.3
医業収支比率	2.3		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	95.5		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	4815.9		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	95.5		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	4.6		85.9	81.0

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,512,753
1 固定資産	2,061,331
(1) 有形固定資産	2,061,239
(2) 無形固定資産	92
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,444,922
(1) 現金及び預金	1,129,333
(2) 未収金及び未収収益	315,589
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	6,500
負債合計	1,736,539
1 固定負債	895,015
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	895,015
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	525,007
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	135,917
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,196
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	385,689
(9) 前受金及び前受収益	13
3 繰延収益	316,517
(1) 長期前受金	704,449
(2) 長期前受金収益化累計額( )	387,932
資本合計	1,776,214
1 資本金	399,681
2 剰余金	1,376,533
(1) 資本金剰余金	1,233,517
(2) 利益剰余金	143,016
負債・資本合計	3,512,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	48,884	257,796
資本勘定繰入	320,726	273,686
計	369,610	531,482

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	長崎県病院企業団
	病院名	五島中央病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	230	68.8	70.3	72.5
療養	-	-	-	-
結核	10	5.4	9.2	-
精神	60	50.0	50.2	61.2
感染症	4	-	-	-
計	304	62.5	63.8	67.2
平均在院日数（一般病床のみ）		15.8	16.1	16.6

設立団体の状況	
人口（人）	-
決算規模（千円）	-
標準財政規模（千円）	-
財政力指数	-
経常収支比率（%）	-
健全化 判断比率	実質赤字比率（%）
	連結実質赤字比率（%）
	実質公債費比率（%）
	将来負担比率（%）

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,410 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	78.5
修正医業収支金額（千円）	4,094,402

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,337,538			
1 経常収益	5,329,584			
（1）医業収益	4,168,687			
入院収益	2,451,100			
外来収益	1,441,846			
診療収入計	3,892,946			
その他医業収益	275,741			
（うち他会計負担金）	74,285			
（2）医業外収益	1,160,897			
（うち国・都道府県補助金）	58,667			
（うち他会計補助・負担金）	1,000,952			
（うち長期前受金戻入）	62,308			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	7,954			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	5,552,041			
2 経常費用	5,518,668			
（1）医業費用	5,216,409			
職員給与費	2,658,027	63.8	55.9	56.9
材料費	1,053,342	25.3	24.0	24.2
（うち薬品費）	513,720	12.3	12.4	12.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	534,176	12.8	11.1	11.7
減価償却費	503,685	12.1	9.2	9.5
経費	971,827	23.3	23.2	21.8
（うち委託料）	497,254	11.9	11.2	10.7
研究研修費	24,351			
資産減耗費	5,177			
（2）医業外費用	302,259			
（うち支払利息）	117,578	2.8	1.7	1.8
（3）特別損失	33,373			
損益				
経常損益	-189,084			
純損益	-214,503			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.6		98.0	96.3
医業収支比率	79.9		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	25.8		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	20.1		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	77.1		85.9	85.4

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	58,137,704
1 固定資産	43,947,182
（1）有形固定資産	36,362,944
（2）無形固定資産	626,631
（3）投資その他の資産	6,957,607
2 流動資産	14,190,522
（1）現金及び預金	10,085,581
（2）未収金及び未収収益	3,946,676
（3）貸倒引当金（ ）	101,347
（4）貯蔵品	249,827
3 繰延資産	-
負債合計	36,877,251
1 固定負債	24,668,660
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,605,825
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	313,236
（6）引当金	5,739,357
（7）リース債務	10,242
2 流動負債	5,734,862
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,020,314
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	16,704
（5）引当金	843,097
（6）リース債務	8,435
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	2,577,828
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,473,729
（1）長期前受金	9,467,669
（2）長期前受金収益化累計額（ ）	2,993,940
資本合計	21,260,453
1 資本金	12,703,695
2 剰余金	8,556,758
（1）資本剰余金	5,137,036
（2）利益剰余金	3,419,722
負債・資本合計	58,137,704
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	564,049	1,075,237
資本勘定繰入	351,334	365,242
計	915,383	1,440,479

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	長崎県病院企業団
		病院名	富江病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,092 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	55	92.4	95.7	97.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	92.4	95.7	97.5
平均在院日数(一般病床のみ)		25.0	31.3	30.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.4
修正医業収支金額(千円)	540,223

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	724,744			
1 経常収益	724,582			
(1) 医業収益	576,517			
入院収益	402,336			
外来収益	117,331			
診療収入計	519,667			
その他医業収益	56,850			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	148,065			
(うち国・都道府県補助金)	1,480			
(うち他会計補助・負担金)	126,193			
(うち長期前受金戻入)	13,288			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	162			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	694,126			
2 経常費用	637,192			
(1) 医業費用	618,374			
職員給与費	401,515	69.6	55.9	69.4
材料費	76,530	13.3	24.0	17.1
(うち薬品費)	40,365	7.0	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,396	4.4	11.1	5.8
減価償却費	44,926	7.8	9.2	11.6
経費	89,573	15.5	23.2	31.2
(うち委託料)	33,968	5.9	11.2	12.1
研究研修費	2,224			
資産減耗費	3,606			
(2) 医業外費用	18,818			
(うち支払利息)	2,137	0.4	1.7	2.1
(3) 特別損失	56,934			
損益				
経常損益	87,390			
純損益	30,618			
累積欠損金	-			
経常収支比率	113.7		98.0	98.0
医業収支比率	93.2		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	22.4		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	28.2		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	22.4		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	88.2		85.9	75.8

備考:  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,137,704
1 固定資産	43,947,182
(1) 有形固定資産	36,362,944
(2) 無形固定資産	626,631
(3) 投資その他の資産	6,957,607
2 流動資産	14,190,522
(1) 現金及び預金	10,085,581
(2) 未収金及び未収収益	3,946,676
(3) 貸倒引当金( )	101,347
(4) 貯蔵品	249,827
3 繰延資産	-
負債合計	36,877,251
1 固定負債	24,668,660
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,605,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	313,236
(6) 引当金	5,739,357
(7) リース債務	10,242
2 流動負債	5,734,862
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,020,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	16,704
(5) 引当金	843,097
(6) リース債務	8,435
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,577,828
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,473,729
(1) 長期前受金	9,467,669
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,993,940
資本合計	21,260,453
1 資本金	12,703,695
2 剰余金	8,556,758
(1) 資本剰余金	5,137,036
(2) 利益剰余金	3,419,722
負債・資本合計	58,137,704
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	17,812	162,487
資本勘定繰入	46,846	46,846
計	64,658	209,333

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	長崎県病院企業団
	病院名	上五島病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,954 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	132	87.0	91.0	86.5
療養	50	74.7	76.1	76.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	81.8	85.1	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.5	20.2	19.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.0
修正医業収支金額(千円)	3,748,204

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,328,642			
1 経常収益	4,326,808			
(1) 医業収益	3,787,892			
入院収益	1,910,841			
外来収益	1,566,461			
診療収入計	3,477,302			
その他医業収益	310,590			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	538,916			
(うち国・都道府県補助金)	37,143			
(うち他会計補助・負担金)	371,833			
(うち長期前受金戻入)	52,758			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,834			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,487,811			
2 経常費用	4,433,336			
(1) 医業費用	4,260,414			
職員給与費	2,224,113	58.7	55.9	59.8
材料費	876,230	23.1	24.0	17.7
(うち薬品費)	361,797	9.6	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	473,652	12.5	11.1	8.0
減価償却費	423,829	11.2	9.2	10.4
経費	682,934	18.0	23.2	31.2
(うち委託料)	125,171	3.3	11.2	12.8
研究研修費	47,004			
資産減耗費	6,304			
(2) 医業外費用	172,922			
(うち支払利息)	2,053	0.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	54,475			
損益				
経常損益	-106,528			
純損益	-159,169			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.6		98.0	96.3
医業収支比率	88.9		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	88.3		85.9	81.0

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,137,704
1 固定資産	43,947,182
(1) 有形固定資産	36,362,944
(2) 無形固定資産	626,631
(3) 投資その他の資産	6,957,607
2 流動資産	14,190,522
(1) 現金及び預金	10,085,581
(2) 未収金及び未収収益	3,946,676
(3) 貸倒引当金( )	101,347
(4) 貯蔵品	249,827
3 繰延資産	-
負債合計	36,877,251
1 固定負債	24,668,660
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,605,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	313,236
(6) 引当金	5,739,357
(7) リース債務	10,242
2 流動負債	5,734,862
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,020,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	16,704
(5) 引当金	843,097
(6) リース債務	8,435
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,577,828
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,473,729
(1) 長期前受金	9,467,669
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,993,940
資本合計	21,260,453
1 資本金	12,703,695
2 剰余金	8,556,758
(1) 資本金剰余金	5,137,036
(2) 利益剰余金	3,419,722
負債・資本合計	58,137,704
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	98,015	411,521
資本勘定繰入	83,566	94,340
計	181,581	505,861

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	上対馬病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,554 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	60	72.7	68.7	59.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	72.7	68.7	59.9
平均在院日数（一般病床のみ）		24.5	19.6	19.7

設立団体の状況	
人口（人）	-
決算規模（千円）	-
標準財政規模（千円）	-
財政力指数	-
経常収支比率（%）	-
健全化判断比率	実質赤字比率（%）
	連結実質赤字比率（%）
	実質公債費比率（%）
	将来負担比率（%）

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	78.0
修正医業収支金額（千円）	772,490

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,069,606			
1 経常収益	1,069,600			
(1) 医業収益	810,481			
入院収益	416,378			
外来収益	266,671			
診療収入計	683,049			
その他医業収益	127,432			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	259,119			
(うち国・都道府県補助金)	20,996			
(うち他会計補助・負担金)	183,951			
(うち長期前受金戻入)	29,974			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,084,947			
2 経常費用	1,042,303			
(1) 医業費用	989,860			
職員給与費	617,643	76.2	55.9	69.4
材料費	129,417	16.0	24.0	17.1
(うち薬品費)	61,462	7.6	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	58,456	7.2	11.1	5.8
減価償却費	101,033	12.5	9.2	11.6
経費	136,925	16.9	23.2	31.2
(うち委託料)	40,583	5.0	11.2	12.1
研究研修費	2,164			
資産減耗費	2,678			
(2) 医業外費用	52,443			
(うち支払利息)	5,503	0.7	1.7	2.1
(3) 特別損失	42,644			
損益				
経常損益	27,297			
純損益	-15,341			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.6		98.0	98.0
医業収支比率	81.9		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	27.4		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	20.7		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	81.3		85.9	75.8

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	58,137,704
1 固定資産	43,947,182
(1) 有形固定資産	36,362,944
(2) 無形固定資産	626,631
(3) 投資その他の資産	6,957,607
2 流動資産	14,190,522
(1) 現金及び預金	10,085,581
(2) 未収金及び未収収益	3,946,676
(3) 貸倒引当金（ ）	101,347
(4) 貯蔵品	249,827
3 繰延資産	-
負債合計	36,877,251
1 固定負債	24,668,660
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,605,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	313,236
(6) 引当金	5,739,357
(7) リース債務	10,242
2 流動負債	5,734,862
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,020,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	16,704
(5) 引当金	843,097
(6) リース債務	8,435
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,577,828
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,473,729
(1) 長期前受金	9,467,669
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,993,940
資本合計	21,260,453
1 資本金	12,703,695
2 剰余金	8,556,758
(1) 資本剰余金	5,137,036
(2) 利益剰余金	3,419,722
負債・資本合計	58,137,704
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	26,260	221,942
資本勘定繰入	38,237	38,237
計	64,497	260,179

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(29年度)</b>				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,161 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨感		
診療科数	3	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	139	79.6	77.4	78.7
感染症	-	-	-	-
計	139	79.6	77.4	78.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.4
修正医業収支金額(千円)	1,467,478

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,961,214			
1 経常収益	1,960,081			
(1) 医業収益	1,510,357			
入院収益	1,203,925			
外来収益	217,629			
診療収入計	1,421,554			
その他医業収益	88,803			
(うち他会計負担金)	42,879			
(2) 医業外収益	449,724			
(うち国・都道府県補助金)	2,652			
(うち他会計補助・負担金)	384,138			
(うち長期前受金戻入)	54,621			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,133			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,906,265			
2 経常費用	1,818,547			
(1) 医業費用	1,780,345			
職員給与費	1,229,925	81.4	55.9	94.3
材料費	172,147	11.4	24.0	8.8
(うち薬品費)	156,976	10.4	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,730	1.0	11.1	1.1
減価償却費	117,399	7.8	9.2	12.6
経費	248,758	16.5	23.2	33.3
(うち委託料)	127,670	8.5	11.2	16.0
研究研修費	11,453			
資産減耗費	663			
(2) 医業外費用	38,202			
(うち支払利息)	2,740	0.2	1.7	3.4
(3) 特別損失	87,718			
損益				
経常損益	141,534			
純損益	54,949			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.8		98.0	100.2
医業収支比率	84.8		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	21.8		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	28.3		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	21.8		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	84.3		85.9	66.5

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,137,704
1 固定資産	43,947,182
(1) 有形固定資産	36,362,944
(2) 無形固定資産	626,631
(3) 投資その他の資産	6,957,607
2 流動資産	14,190,522
(1) 現金及び預金	10,085,581
(2) 未収金及び未収収益	3,946,676
(3) 貸倒引当金( )	101,347
(4) 貯蔵品	249,827
3 繰延資産	-
負債合計	36,877,251
1 固定負債	24,668,660
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,605,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	313,236
(6) 引当金	5,739,357
(7) リース債務	10,242
2 流動負債	5,734,862
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,020,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	16,704
(5) 引当金	843,097
(6) リース債務	8,435
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,577,828
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,473,729
(1) 長期前受金	9,467,669
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,993,940
資本合計	21,260,453
1 資本金	12,703,695
2 剰余金	8,556,758
(1) 資本金剰余金	5,137,036
(2) 利益剰余金	3,419,722
負債・資本合計	58,137,704
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	414,448	427,017
資本勘定繰入	18,623	18,623
計	433,071	445,640

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)	都道府県名	長崎県	
	市町村・組合名	長崎県病院企業団	
	病院名	島原病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,076 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	17	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	250	82.6	76.2	77.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	254	81.3	75.0	76.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	14.1	15.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.9
修正医業収支金額(千円)	5,211,537

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,788,521			
1 経常収益	5,786,487			
(1) 医業収益	5,331,435			
入院収益	3,836,715			
外来収益	1,272,499			
診療収入計	5,109,214			
その他医業収益	222,221			
(うち他会計負担金)	119,898			
(2) 医業外収益	455,052			
(うち国・都道府県補助金)	32,961			
(うち他会計補助・負担金)	348,119			
(うち長期前受金戻入)	57,016			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,034			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,057,803			
2 経常費用	5,953,795			
(1) 医業費用	5,608,270			
職員給与費	2,765,016	51.9	55.9	59.2
材料費	1,383,127	25.9	24.0	19.6
(うち薬品費)	837,045	15.7	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	545,651	10.2	11.1	9.2
減価償却費	552,856	10.4	9.2	10.4
経費	885,768	16.6	23.2	27.3
(うち委託料)	439,074	8.2	11.2	11.8
研究研修費	16,071			
資産減耗費	5,432			
(2) 医業外費用	345,525			
(うち支払利息)	104,467	2.0	1.7	1.8
(3) 特別損失	104,008			
損益				
経常損益	-167,308			
純損益	-269,282			
累積欠損金	697,452			
経常収支比率	97.2		98.0	96.1
医業収支比率	95.1		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	8.1		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	89.3		85.9	83.2

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,137,704
1 固定資産	43,947,182
(1) 有形固定資産	36,362,944
(2) 無形固定資産	626,631
(3) 投資その他の資産	6,957,607
2 流動資産	14,190,522
(1) 現金及び預金	10,085,581
(2) 未収金及び未収収益	3,946,676
(3) 貸倒引当金( )	101,347
(4) 貯蔵品	249,827
3 繰延資産	-
負債合計	36,877,251
1 固定負債	24,668,660
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,605,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	313,236
(6) 引当金	5,739,357
(7) リース債務	10,242
2 流動負債	5,734,862
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,020,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	16,704
(5) 引当金	843,097
(6) リース債務	8,435
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,577,828
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,473,729
(1) 長期前受金	9,467,669
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,993,940
資本合計	21,260,453
1 資本金	12,703,695
2 剰余金	8,556,758
(1) 資本金剰余金	5,137,036
(2) 利益剰余金	3,419,722
負債・資本合計	58,137,704
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	434,452	468,017
資本勘定繰入	329,177	373,510
計	763,629	841,527

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 29 年度 )</b>				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	吉岐病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,290 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 感 災 輪		
診療科数	17	看護配置	10 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	120	94.7	93.4	82.2
療養	48	90.2	87.6	77.1
結核	6	6.9	5.1	-
精神	50	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	228	69.0	67.7	59.5
平均在院日数（一般病床のみ）		17.5	19.4	21.7

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	-	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	-	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.6
修正医業収支金額（千円）	2,692,154

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,197,721			
1 経常収益	3,195,682			
(1) 医業収益	2,735,236			
入院収益	1,791,477			
外来収益	729,197			
診療収入計	2,520,674			
その他医業収益	214,562			
(うち他会計負担金)	43,082			
(2) 医業外収益	460,446			
(うち国・都道府県補助金)	3,825			
(うち他会計補助・負担金)	418,093			
(うち長期前受金戻入)	23,562			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,039			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,333,168			
2 経常費用	3,253,789			
(1) 医業費用	3,110,237			
職員給与費	1,809,467	66.2	55.9	59.2
材料費	555,147	20.3	24.0	19.6
(うち薬品費)	224,912	8.2	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	294,242	10.8	11.1	9.2
減価償却費	266,441	9.7	9.2	10.4
経費	464,132	17.0	23.2	27.3
(うち委託料)	213,409	7.8	11.2	11.8
研究研修費	13,225			
資産減耗費	1,825			
(2) 医業外費用	143,552			
(うち支払利息)	55,099	2.0	1.7	1.8
(3) 特別損失	79,379			
損益				
経常損益	-58,107			
純損益	-135,447			
累積欠損金	450,374			
経常収支比率	98.2		98.0	96.1
医業収支比率	87.9		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	16.9		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	14.4		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	84.0		85.9	83.2

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	58,137,704
1 固定資産	43,947,182
(1) 有形固定資産	36,362,944
(2) 無形固定資産	626,631
(3) 投資その他の資産	6,957,607
2 流動資産	14,190,522
(1) 現金及び預金	10,085,581
(2) 未収金及び未収収益	3,946,676
(3) 貸倒引当金（ ）	101,347
(4) 貯蔵品	249,827
3 繰延資産	-
負債合計	36,877,251
1 固定負債	24,668,660
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,605,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	313,236
(6) 引当金	5,739,357
(7) リース債務	10,242
2 流動負債	5,734,862
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,020,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	16,704
(5) 引当金	843,097
(6) リース債務	8,435
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,577,828
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,473,729
(1) 長期前受金	9,467,669
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,993,940
資本合計	21,260,453
1 資本金	12,703,695
2 剰余金	8,556,758
(1) 資本剰余金	5,137,036
(2) 利益剰余金	3,419,722
負債・資本合計	58,137,704
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	145,661	461,175
資本勘定繰入	92,639	149,528
計	238,300	610,703

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	長崎県病院企業団
		病院名	対馬病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,812 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災輪
診療科数	25	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	222	80.5	86.2	84.3
療養	-	-	-	-
結核	4	23.1	-	2.3
精神	45	74.5	71.8	66.0
感染症	4	-	-	-
計	275	77.5	81.3	78.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	19.1	18.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	-
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収支金額(千円)	4,472,117

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,289,424			
1 経常収益	5,283,434			
(1) 医業収益	4,511,805			
入院収益	2,740,251			
外来収益	1,396,402			
診療収入計	4,136,653			
その他医業収益	375,152			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	771,629			
(うち国・都道府県補助金)	30,056			
(うち他会計補助・負担金)	593,153			
(うち長期前受金戻入)	91,225			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,990			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,014,951			
2 経常費用	5,959,906			
(1) 医業費用	5,724,717			
職員給与費	3,014,080	66.8	55.9	59.2
材料費	987,014	21.9	24.0	19.6
(うち薬品費)	359,248	8.0	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	622,465	13.8	11.1	9.2
減価償却費	701,202	15.5	9.2	10.4
経費	996,136	22.1	23.2	27.3
(うち委託料)	508,435	11.3	11.2	11.8
研究研修費	23,435			
資産減耗費	2,850			
(2) 医業外費用	235,189			
(うち支払利息)	45,263	1.0	1.7	1.8
(3) 特別損失	55,045			
損益				
経常損益	-676,472			
純損益	-725,527			
累積欠損金	691,755			
経常収支比率	88.6		98.0	96.1
医業収支比率	78.8		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	14.0		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	78.0		85.9	83.2

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,137,704
1 固定資産	43,947,182
(1) 有形固定資産	36,362,944
(2) 無形固定資産	626,631
(3) 投資その他の資産	6,957,607
2 流動資産	14,190,522
(1) 現金及び預金	10,085,581
(2) 未収金及び未収収益	3,946,676
(3) 貸倒引当金( )	101,347
(4) 貯蔵品	249,827
3 繰延資産	-
負債合計	36,877,251
1 固定負債	24,668,660
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,605,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	313,236
(6) 引当金	5,739,357
(7) リース債務	10,242
2 流動負債	5,734,862
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,020,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	16,704
(5) 引当金	843,097
(6) リース債務	8,435
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,577,828
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,473,729
(1) 長期前受金	9,467,669
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,993,940
資本合計	21,260,453
1 資本金	12,703,695
2 剰余金	8,556,758
(1) 資本剰余金	5,137,036
(2) 利益剰余金	3,419,722
負債・資本合計	58,137,704
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	319,901	632,841
資本勘定繰入	109,134	127,270
計	429,035	760,111

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。